

佐賀県研究成果情報

トンネル栽培ブドウ「ピオーネ」の環状はく皮による品質向上と熟期促進					
<p>[要約] トンネル栽培の「ピオーネ」は、開花30日後に主幹部に幅2cmの環状はく皮処理を行うと、<u>糖度</u>が高く、<u>着色</u>が向上して熟期が早まり、7～10日程度早期収穫が可能となる。</p>					
佐賀県果樹試験場・落葉果樹研究室				連絡先	0952-73-2275
部会名	果 樹	専 門	栽 培	対 象	ブドウ

[背景・ねらい]

ブドウ「ピオーネ」のトンネル栽培は、成熟期が梅雨期となり、日照不足や高夜温のため着色が悪く、品質低下となりやすい。そこで、開花後の環状はく皮処理が果実品質におよぼす影響を検討する。

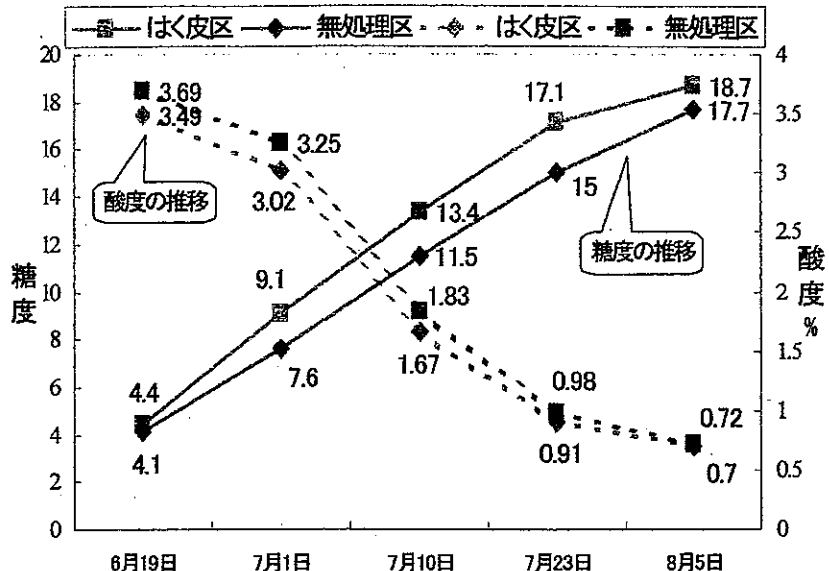
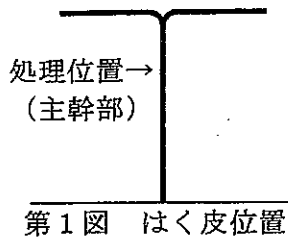
[成果の内容・特徴]

1. 糖度は、環状はく皮処理によって収穫期まで高く推移する。酸度は、環状はく皮処理によってやや低く推移するが、収穫時には差がなくなる（第2図）。
2. 収穫時の果実品質では、果房重、着粒数、1粒重に差はないが、果色と糖度は環状はく皮処理によって明らかに高まる（第1表）。
3. 収穫時の着色では、無処理の場合カラーチャート値9以上の割合が10%以下であるのに対し、環状はく皮処理によって85%以上と高まる（第3図）。
4. 環状はく皮処理によって糖度と果色が高まり、熟期は7～10日程度促進される。

[成果の活用面・留意点]

1. トンネル栽培「ピオーネ」の品質向上と熟期促進技術として活用できる。
2. 環状はく皮は樹勢低下の恐れがあるので樹勢が弱い樹には処理をしない。
3. 環状はく皮後は傷口にトップジンペーストを塗布し、癒合を促進する。
4. はく皮部は害虫の食害に注意し、必要に応じて殺虫剤を散布する。
5. 着果過多は着色不良を招く大きな要因であり、環状はく皮の効果も劣るので必ず適正着果量を守る。

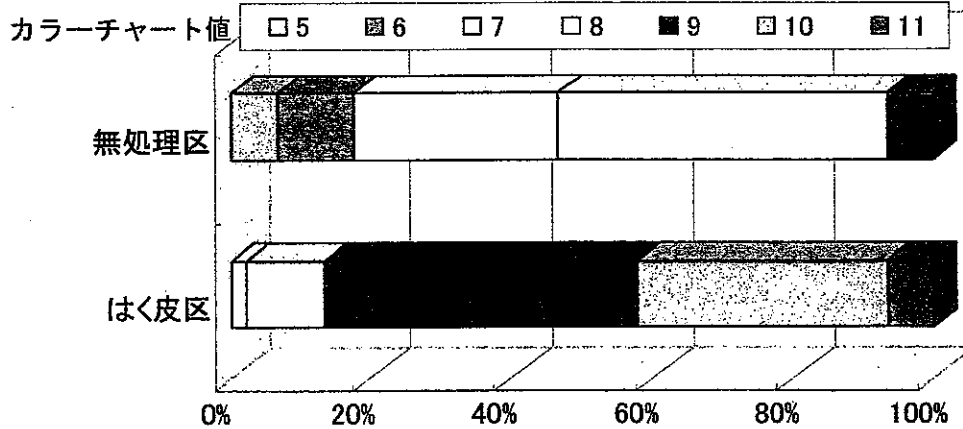
[具体的データ]



第1表 開花30日後の環状はく皮処理がトンネル栽培ピオーネの果実品質におよぼす影響

試験区	果房長 (mm)	果房重 (g)	着粒数	一粒重 (g)	着色 (c. c)	糖度 (Brix)	酸度 (g/100ml)	pH
はく皮区	147.8	533.8	39.6	13.5	9.1	17.9	0.58	3.62
無処理区	152.5	530.9	38.5	13.8	6.9	16.9	0.62	3.60

(2002年8月9日調査)



第3図 開花30日後の環状はく皮処理がトンネル栽培ピオーネの着色におよぼす影響

[その他]

研究課題名：ブドウ新品種の生産安定と省力化栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成10～16年

研究担当者：福田浩幸、松瀬政司、稲富和弘

発表論文等：平成14年度落葉果樹試験研究成績概要集